

1. 公益目的事業の実施内容

1-1 支援プロジェクト

1-1(1)教育支援

・学校建設支援

◆連携団体：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会（SVA）

◆対象地域：カンボジア

◆支援額：100万円

2025年度でのカンボジアポーサット州のトムポー小学校建設支援のため、支援校の情報を公開し、寄付金を募り、SVAを通して支援した。（竣工：2025年夏予定）

・奨学金支援

◆連携団体：KKEV（現地NGO）

◆対象地域：カンボジア・センソック地域（プノンペン市郊外）

◆支援額：約44万円 ※3000ドル

プノンペン・センソック地域に暮らす、成績優秀で進学意欲はあるが、貧困のために学校に通い続けることのできない中学生～大学生へ、奨学金制度を通じて教科書、制服、交通費の支援を行った。2024年度は11名を支援（8名はスカラーペアント制度、1名は大学生奨学金支援制度、残り2名はセカンドハンド・ユースが支援）した。

1-1(2)自立支援

・女性の自立支援

◆連携団体：ラチャナハンディクラフトバッタンバン（現地NGO）

◆対象地域：カンボジア・バッタンバン州

◆連携団体：OAU（現地団体：Orphan Affairs Unit）

◆対象地域：アフリカ・マラウイ

◆支援額：約7万円

現地の女性たちが製作した布製品を適正な価格で購入し日本で販売することにより、生産者の生活を支え、経済的自立への支援、フェアトレード商品の普及を図っている。商品の販売は、チャリティショップ内だけでなく、広く日本各地でのイベント出店も行っている。また、様々な企業や店舗のご協力を得て委託販売を実施し、より多くの方々に商品を手にとってもらえる機会となっている。更に認知度を上げるため、ネット販売も行っている。2024年

度からは、マラウイの村の貧しい女性が制作しているプロジェクトの支援も開始した。

また、2024年度は30周年記念事業店舗イベントとして、10月カンボジア人がセカンドハンド3店舗で販売も行った。

なお、2013年度より高松市内にある保育園からの委託で実施していた制服の製作依頼は、ラチャナハンディクラフトのシバナさん死去に伴い、中止とした。

«委託販売先» 順不同・敬称略

和Cafe ぐう（香川郡直島町）、カフェレスト オリーブ（三豊市）、コアフィール美馬（鳴門市）、テルミライ（東かがわ市）、三宅産業株式会社（高松市）、セカンドハンド北海道



・**フォスターarent制度**

- ◆連携団体：ホームランド（現地NGO）
- ◆対象地域：カンボジア・バッタンバン州
- ◆支援額：約148万円 ※9,850ドル

ホームランドが支援する孤児や養育に欠ける子ども達が、学校に通い、自立できるように支援している。フォスターarent制度を通じ、2024年度は35名の子どもたちを支援した。9月には現地訪問の際に、日本の支援者から現地子どもたちへの手紙・プレゼントを手渡した。また、渡航に参加した里親と支援する里子との交流の時間を設け、相互理解に繋げた。

10月には30周年記念事業として、子ども2名とホームランドスタッフ1名、日本語通訳1名を招聘し、イベント等を通して、日本の子どもたち、セカンドハンド・ユース、ボランティアや支援者と交流した。

・**貧困家庭への自立支援**

- ◆連携団体：OAU（現地団体）
- ◆対象地域：マラウイ
- ◆支援額：30万円

マラウイ共和国のムブンダ地区で活動するOAUを通し、貧困家庭の子ども達への支援を行う。OAUの活動費は十分ではなく、活動はボランティアで成り立っている。セカンドハンドからの支援金は、施設整備や教材費に充てられる。

1-1(3)医療支援

・**保健衛生プロジェクト**

連携団体：ホームランド（現地NGO）

対象地域：カンボジア・バッタンバン州

ホームランドを通じて支援を行う35名の子どもたちを対象に、家族全員が健康で清潔に過ごすことができるよう、また慢性的な栄養不足を改善するため、ホームランドスタッフや子どもたち、その保護者に対し栄養改善プロジェクトを2か年計画で実施してきた。2年目となる本年度は、9月に専門家2名とともに、近年カンボジアで増加している糖尿病や高血圧を予防するための食生活について指導した。また、子どもたちや家族の健康チェック、家庭訪問を通じて、子どもたち自身が自分の身体について関心をもつことができるよう働きかけを行った。（2023年度からの2か年計画）

1-1(4)緊急支援

・生活困窮緊急支援

◆連携団体：香川県子どもの未来応援ネットワーク

◆支援額：20万円

昨今のインフレ等の影響で生活が困窮している子どもたちのためにバザーを実施し、寄附金を募るなど香川県内の子ども食堂の運営団体5団体に各4万円を助成した。

(助成先) あそび舎どんぐり、おかえり子ども食堂、ぬくぬくママSUN'S、まんまるサポート、まなびやもも



・暴風雨被災幼稚園緊急支援

◆連携団体：OAU（現地団体）

◆対象地域：マラウイ

◆支援額：5万円

これまで支援してきた OAU の幼稚園園舎が暴風雨のため屋根が吹き飛び甚大な被害を受けた。改修または改築移転のための費用の一部を緊急支援した。

1-2 支援先視察・交流事業

1-2(1)事業調整者による現地視察

セカンドハンドは支援先のカンボジアに事務所を置かず、現地団体と連携し支援活動を行うスタイルを取っているため、必要に応じて支援先の視察・訪問を行っている。2024年度は、9月に職員をカンボジアに派遣した。

1-2 (2) 支援者と支援先関係者との交流

現地視察に日本の支援者（フォスター・ペアレント）2名に同行していただき、支援先関係者と交流できる機会を設けた。

30周年記念事業として支援先関係者を4名招聘し、イベント等を通して支援者と交流した。チャリティーショップでのボランティア体験やカンボジア雑貨の販売などを通し、どのようにして支援金が生み出されているのかを支援先の皆さんに実感してもらった。また、支援者にとっても、カンボジアやセカンドハンドの支援先の人々の新たな一面を知る機会となつた。

◆招へい期間：2024年10月17日～26日

◆招へい者：ホームランドスタッフ1名、支援している子ども2名、通訳1名

◆主な交流イベント：支援者との交流（ホームステイ、ボランティア体験）、ボランティアとの交流会、学校の児童生徒との交流、セカンドハンドユースとの交流ほか

1-3 人材育成事業

1-3(1)セカンドハンド・ユースのサポート

世界が抱える問題に关心を持ち、問題解決の為に行動できる人材の育成を図るため、組織運営やイベント企画・運営、勉強会等、セカンドハンド・ユースが活動する上で必要なアドバイスを適宜行った。

2024年度は、県内の高校や大学に通う学生10名が所属し、カンボジアの同年代の学生2名の奨学金支援のために、街頭募金活動を通じて支援金を集めました。2024年度は、募金活動とイベント収入で110,370円を集め、貧困のため学校に通えない学生2名の奨学金支援を行った。10月には、異文化交流として、30周年記念事業で招聘した支援先の子どもたちを高松桜井高校へ招待し、学校設備の説明や部活動を体験してもらうなど交流を深めるとともに、双方の文化の理解促進に繋げることができた。

※セカンドハンド・ユースの活動内容は、「3.関連する団体」を参照

1-3(2)ボランティア体験・インターン受入

学校などからの要請を受け、小～大学生等のボランティア体験、職場体験の受け入れを行った。

《2024年度の主な依頼元》順不同・敬称略

高松大学、高松市立紫雲中学校

1-4 観察・調査受入事業

本年度は要請がなかったため実施していない。

1-5 講演・講座事業

1-5(1)香川大学国際協力論

本年度は、実施していない。

1-5(2)国際協力論合宿

本年度は、実施していない。

1-5(3)講演会開催

・主催講演会・講座

今年度は支援報告や視察渡航報告など、計2回開催した。全て一般公開で、初めての人も興味をもって参加できる内容となった。

保健衛生指導者育成プロジェクト（2023年度実施分）報告会 会場：アイパル香川3階 第2会議室（6月16日）

カンボジア渡航報告会 会場：瓦町FLAG8階 大会議室1（10月19日）

1-5(4)講師派遣

セカンドハンドの取り組み、国際理解、国際協力等のテーマで講師派遣を行った。

《2024年度の依頼元》順不同・敬称略

高松大学、高松短期大学

1-6 広報事業

1-6 (1) キャンペーン

・ウェブサイト、ソーシャルメディア

SNS 等を通じ、当団体の活動をはじめ、国際協力やボランティアの普及・啓発のため情報提供及び情報発信を行った。

・30周年記念事業

30周年記念事業として、記念イベントを開催した。また、イベントグッズ（オリジナル Tシャツ）の製作を行い、様々なイベントで活用するとともに、記念冊子の作成を行い、支援者を始め多くの方々に配布し、セカンドハンドが行う社会貢献活動の内容を周知・啓発した。

1-6 (2) イベント開催

広くセカンドハンドについて知ってもらうため、主催バザーやイベント出店を行った。収益は、合計 532,540 円。

《主催イベント》 売上合計：195,110 円

チャリティバザー（布はぎれ）	売上：38,640 円（7月 29-30 日）
チャリティバザー（食器）	売上：26,970 円（8月 19-20 日）
子ども食堂支援チャリティバザー（着物・正月用品）	売上：40,200 円（12月 8-9 日）
チャリティバザー（食器・本）	売上：34,800 円（1月 26 日）
チャリティバザー（バッグ・冬物）	売上：54,500 円（3月 1 日）

《出店イベント》 売上合計：337,430 円

朝日町フリーマーケット 売上：3,100 円（4月 27 日）
カンボジアフェスティバル 売上：64,900 円（5月 3-4 日）
フェアトレードまつり in かがわ 売上：10,480 円（5月 5 日）
フェアトレードフェスタ北海道 売上：20,350 円（7月 20-21 日）
みんなでみんなの輪い和いかい 売上：6,400 円（8月 25 日）
高松桜井高等学校文化祭 売上：36,700 円（9月 6 日）
かがわ国際フェスタ 売上：24,700 円（10月 14 日）
宇多津北小学校 売上：47,000 円（10月 19 日）
まんで願まつり 売上：23,500 円（10月 26 日）
すなはまフェスティバル 売上：17,100 円（11月 4 日）
香川大学祭 売上：28,900 円（10月 26-27 日）
お茶の水大学祭 売上：6,200 円（11月 10 日）
うたづの町家とおひなさん 48,100 円（3月 1-2 日）

1-6 (3) セカンドハンド通信発行

全国の支援者や希望者に無料発送するだけでなく、ホームページでの公開、様々な施設において配布した。支援先の現状や事業の進捗報告を中心に、国際協力やボランティアの普及・啓発のための情報提供など、広くセカンドハンドに関心を持つもらうための内容を工夫した。

■2024年4月発行 Vol.116

内容：設立30周年記念事業、トムポー小学校建設支援、子どもの自立支援、能登半島地震緊急支援等

■2024年7月発行 Vol.117

内容：カンボジア視察渡航、計報のお知らせ、新理事&新職員紹介

■2024年10月発行 Vol.118

内容：カンボジア渡航報告、片原町店リデザインの実施

■2025年1月発行 Vol.119

内容：設立30周年記念事業（カンボジア人の招聘事業）、学校建設支援寄付金、香川県内の子ども食堂支援

1-6(4)ホームページ

ホームページを通して、当団体の活動や支援先の状況等の情報を発信している。

1-7 チャリティショップ定着・3R促進事業

	高松店	片原町店	松縄店	3店舗合計
2020年度	1,808,765	7,423,944	1,518,575	10,751,284
2021年度	1,932,400	6,514,035	1,754,140	10,200,575
2022年度	2,261,600	7,408,830	2,315,740	11,986,170
2023年度	2,272,615	8,387,876	3,098,860	13,759,351
2024年度	2,177,340	7,379,541	3,387,745	12,944,626

SDGsが広く市民に認知されるようになってきたこともあり、セカンドハンドの活動に関心をもち、提供品の持参や商品の購入を通じて関わる方が増えた。口コミやネットを媒体に新規顧客が増加し、それに伴い固定客も増えてきている。片原町店では、旅行客の入店も多く見られる。各店舗のボランティアが定着し、商品の流通が効率的に進んだ。売上はコロナ禍以前の水準に戻っている。

1-8 チャリティーイベント開催事業

チャリティあん摩マッサージ（片原町店） 2回 6,600円

2. 法人の管理運営に関する事項

■ボランティア等

・2024年度ボランティア延べ人数&提供者数

2024年度ボランティア延べ人数&提供者数						合計(人)	提供者数			合計(人)	
	ボランティア数						高松店	松縄店	郵送		
	高松店 2階含む	片原町店	松縄店 2階含む	運搬	事務						
2024年度合計	814	748	681	165	167	2,575	1,546	874	208	2,628	
2023年度合計	823	987	856	123	185	2,974	1,472	954	284	2,710	
2022年度合計	697	781	877	180	67	2,602	1,487	903	289	2,679	
2021年度合計	570	702	478	120	90	1,960	1,557	827	258	2,642	
2020年度合計	586	778	406	151	45	1,966	1,755	865	330	2,950	

2024年度は延べ2,575名のボランティアの方々にご協力いただき、お店の運営やイベント出店を行った。ボランティアスタッフとのコミュニケーションを図るため、交流会を開催。片原町店リデザイン実施にあたり、動線や商品レイアウトなどのチャリティーショップに関するアンケートを7月に行い、その結果などを踏まえ、東京中心に全国でチャリティーショップのポップアップを展開するロイダツ様のご協力により、3月16・17日にリデザインを実施した。このリデザイン実施に当たって多くのボランティアの協力が得られた。また、多くのボランティアの協力により30周年記念事業を実施することができた。

■総会・理事会の開催

2024年6月16日 総会

2024年5月19日、2024年6月16日、2025年2月24日 理事会

3. 関連する団体

■セカンドハンド・ユース

2024年度は、募金活動とイベント開催で約11万円を集め、貧困のため学校に通えない学生2名の奨学金支援を行った。



■セカンドハンド北海道

イベント出店の収益金寄付などを通じてサポート

■セカンドハンド関東

イベント出店の収益金寄付などを通じてサポート

■セカンドハンド駒ヶ根

講演やイベント出店などの活動紹介を通じてサポート

■セカンドハンド大阪

経理面でのアドバイス、決算書や申告書の作成を通じてサポート

■日本チャリティショップネットワーク(JCSN)

全国のチャリティーショップ運営団体で構成された、国内でのさらなる定着を目指したネットワーク団体。今年は6月19日に開催された日本チャリティーショップネットワーク(JCSN)のオンライン研修「お店のリデザイン報告会＆ミニ講座」に参加した。仲間を増やし、地域における活動をさらに広めることを目的に、全国各地でチャリティーショップを運営している団体や関心のある方々が参加し、お互いの活動について理解を深めた。